

田代よいとこーその1ー

田代小の二宮金次郎と少女像の作者・中村博直氏～

田代小の校舎前、校庭に面した場所に、木株に腰掛けて読書する二宮金次郎像が立っているのは、みなさんご存じのことと思います。この金次郎像の作者は、本校の先輩、彫刻家・中村博直（ひろなお）氏です。本校にはもう一つ同氏の作品「少女像」（校長室に展示）があります。

シリーズ第1回目の今回は、中村博直氏についてご紹介しましょう。

中村博直氏略歴

大正5年9月15日、愛川町半原馬渡地区に、宮大工の父・秋松、母タカの長男として生まれる。田代尋常高等小学校に入学。1年生の時、関東大震災に遭い、両親を失う。3年生の時、半原小学校へ転校する。数年後、祖父、ついで姉も失い、孤児となる。小学校卒業後、馬渡の宮大工・小林茂太郎氏の内弟子となる。その後20歳の時に、日本芸術院会員の彫刻家・澤田政廣先生に師事、本格的に彫刻家としての道を歩み始める。三度の召集を受けて軍隊生活を送り、終戦後再び澤田先生に師事。以後、日展特選、日展文部大臣賞受賞、日本芸術院賞受賞等、我が国の木彫会の重鎮として活躍。平成3年9月9日74歳にて死去。



二宮金次郎像



少女像

ちなみに金次郎像は昭和31年2月10日建立、「少女像」は、昭和51年3月に制作されたもので、昭和13年度卒業生から寄贈されたものです。同氏の作品は愛川町に多く残っています。田代小学校からこのような優れた芸術家が生まれたことは、大変うれしいことですね。

◆参考資料

「幼き日の思い出」（「彫刻家 中村博直先生芸術院賞受賞祝賀会」冊子）

※同祝賀会は、昭和62年6月17日愛川町文化会館で開催

『目でみる110年』（本校110周年記念誌）

◆資料提供：愛川町郷土資料館学芸員・山口研一氏

ところで、タイムリーなことに、このたび愛川町郷土資料館で、中村博直氏の作品展を開催することとなりました。ぜひお出かけください。子どもたちにも大先輩の芸術作品を見てあげたいものですね。

名称：郷土資料館春季展示会「中村博直製作彫刻展」※約15点を展示

会期：平成26年4月20日（日）～5月6日（火）

※21日のみ休館。その他の日は開館

会場：愛川町郷土資料館企画展示室（愛川町半原5287 TEL280-1050）

その他：入館無料。駐車場は県立あいかわ公園駐車場です。

〈駐車場無料の日〉4/22（火）～25（金）4/28（月）

今後も田代小や田代地区にまつわる話題を紙面にて提供してまいります。ぜひご感想をお寄せください。また、こんなことを取り上げてほしいというご要望がございましたら、教頭までお知らせください。